

電子式流量計アイシリーズに Bluetooth®通信機能モデルを追加 スマホで容易に遠隔操作が可能になりました

当社制御システム事業本部では、さまざまな流量計を製造・販売し、市場ニーズに対応していますが、今般、電子式流量計アイシリーズに遠隔操作を可能にする「Bluetooth通信機能モデル」を追加し、2023年6月1日より販売を開始しました。

正しく計測するということは、たとえば食品分野でいえばおいしさや味の均一を守ること、医薬医療分野でいえば健康への担保につながります。またガソリンなどの燃料が正確に入っていることで船、車、飛行機などの安全運航が可能となります。流量計は無駄をなくす、省力化にもつながっていて、環境配慮にも貢献しています。

ねじが産業の塩といわれ、目に見えないところでふだんの暮らしを支えているように、じつは流量計も石油・化学エネルギー、造船、食品加工をはじめ運輸、医薬医療など数多くの分野で活躍し、安全や安心をサポートしているのです。

☆

電子式流量計アイシリーズは、当社の主力流量計製品です。電子表示計数部を搭載し、お客様の用途にあわせて表示桁数やパルス出力単位等の各

種パラメータ設定を可能にしたものですが、今回、このアイシリーズに新たにBluetooth通信機能モデルを追加しました。

流量計はそれ自体がメインとなるものではありません。いわば縁の下の力持ちですが、とはいえ精度の高さだけではなく、使いやすさ、わかりやすさも重要です。流量計が高い場所や狭い場所などアクセスしにくい場所に設置された場合、これまでは各種パラメータの変更や積算流量の取得などに不便を感じることもあったのですが、Bluetooth通信機能モデルでは、専用アプリ「F-Blue®」を使用することで、スマートフォンから簡単に遠隔操作できるため、流量計の設置場所に関わるお客様の不安を解消し、より多くのお客様にお選びいただける製品になりました。



■電子式流量計アイシリーズ Bluetooth®通信機能モデルの特長

(1) スマートフォン向け専用アプリ「F-Blue」による直感操作が可能

スマートフォン向け専用アプリ「F-Blue」を介してスマートフォンから流量計へのアクセスが可能になりました。各種設定パラメータの名称や内容が見やすくなり、流量計のパラメータ設定変更などの操作も、タッチ操作により直感的かつ簡単に行えるようになりました。

左から起動画面、メニュー画面、設定画面



(2) 問い合わせ機能の充実により計測トラブルがスムーズに解消

専用アプリ「F-Blue」には、流量計測が正常に行えないなどのトラブル発生時に、流量計内のデータを読み出し、当社サポートもしくは任意のアドレスにメールで送信する機能を搭載しています。これにより、トラブルのスピード解決が可能になります。



電子式流量計アイシリーズ

ロータリピストン式容積流量計の計量部に電子表示計数部を搭載した流量計「フローアイ (FE)」。Bluetooth通信機能はこのFEに加え、NE、OE、AEの型式に対応しています。化学液、食品液、石油類、水、その他の計測をターゲットに年間150台の販売目標

※Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の商標です。



6月1日は「ねじの日」～ねじで希望をかなえ、夢をつなげる～

2014年から開始した『受験生応援ねじプレゼントキャンペーン』については2022年度分も好評のうちに終了いたしました。今回も2022年12月、2023年1月、2月と3回に分けて募集をし、応募件数は1129件、応募個数5859となりました。これまでの数を加えるとのべ約5万人にプレゼントしたことになります。「がんばります！ 励みにします」という奮起の声だけでなく、「無事第一志望に合格しま

した♡」という喜びの声もたくさん届き、当社の受験生応援ねじ（樹脂用ゆるみ止めねじ「ギザタイト」）が、たくさんの方々の希望を叶える一助となり、夢をつなげるお役にたった喜びを感じています。

地元紙や業界紙などでこのキャンペーンをとりあげていただき、とくに「サンデー毎日」のグラビアページ（合格祈願グッズ特集）ではカラーで大きくご紹介いただきました。また、4年前から当社の子会社となった伸和精工もこのキャンペーンを利用し、地元長野県箕輪町の箕輪中学校の3年生248人に寄贈、地域貢献に役立てています。右写真は地元紙に紹介された記事で、そのなかで「地元企業の良さを肌で感じたことをきっかけに（受験・勉強を）頑張ってもらえる」という校長先生の声を紹介しています。

6月1日は「ねじ」の日でしたが、日東精工グループでは「ねじ」を「つなげる」「きずな」のシンボルとして多くの方々に認知していただけるよう、これからもさまざまな企画を実施してまいります。

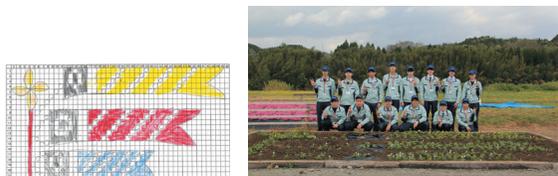


左、「サンデー毎日」2023年2月12日号、
右、みのわ新聞2022年12月22日付



「由良川花壇展」を通して 新入社員がCSR活動を実践・理解

日東精工が本社をおく京都府綾部市では毎年「あやべ由良川花壇展」が開催され、地元企業やNPO、自治会、学校などがそれぞれのテーマで花壇を整備し、市民に憩いを与えています。当社もこのイベントに協賛しており、今年のテーマは「こいのぼり」。開催期間がゴールデンウィークの前半（4月29日から5月1日まで）で、こどもの日が近いこともあり、「すくすくと元気に子供が育ってくれますように」という思いを込めて制作。30回特別記念賞を受賞しました。毎年、新入社員が自分たちの力だけで準備を進め、CSR活動の理解と実践に役立てています。



左がデザイン画で右がそれをもとに作成した花壇の前で新入社員。ピオラやロベリア、リュウノヒゲなど約1000ポットで展開。花壇展イベントは3日間だけだが、その後も花壇は残り、6月まで花の成長を皆が楽しめるようになっている

若者の採用・育成を評価され 東陽精工が「ユースエール認定」

当社グループ企業の東陽精工(株)が京都労働局から「ユースエール認定」を受けました。

「ユースエール認定」とは、若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度。全国では1012社（令和5年2月28日現在）が「ユースエール認定」を受けており、京都府、中丹・丹後地域では4番目の認定となりました。4月19日に東陽精工にて認定式典が執り行われました。



認定マークの若葉の形は、若者がやる気に満ちあふれ、腕をふるう姿を、赤い丸はその活力を意味し、若い力で日本の活力を上昇させていくイメージを表現/下は認定式

「未来モノづくり国際EXPO2023」で マイクロバブル技術をアピール!

5月10日から12日までインテックス大阪で「未来モノづくり国際EXPO 2023」が開催され、当社は（一社）ファインバブル産業会の構成メンバーとして、マイクロバブル関連2アイテムを出展しました。マイクロバブルは洗浄や水質浄化の効果が認められて工業分野を中心に産業利用が進んでおり、当社の「マイクロバブル生成装置バブ・リモ」も自動車分野を中心に採用されています。展示会ではこの「バブ・リモ」を展示し、溶剤を使用しないことで環境負荷軽減に貢献できる、その洗浄力の凄さを実演、来場者の方に実感いただきました。

またマイクロバブルについては洗浄力だけでなく、血行促進や保温効果も認められ、美容・健康分野での採用事例も拡大しており、今後は医療分野での活躍も見込まれています。

当社でも昨年10月に「理美容業界向けマイクロバブルシャワーシステム“BUBLISS®”」を発売していますが、こちらについても、しっかりした科学的根拠（エビデンス）をお示ししながらアピールすることができました。



製品の
より詳しい情報は
こちらから▶



【誠の言霊②】

見せるは魅せる

荒賀誠

ピ アニスト角野隼斗さんのことを知りました。ショパンコン

クールで優秀な成績を収める一方で、ジャズやロックコンサートにも参加。東京大学工学部卒業という音楽家としては異色の経歴で、チケットは毎回完売する人気アーティストです。彼の新しさは「SNS」を駆使することでもあり、コンサートといえ

ば一般には撮影・録画はNGですが、途中にわざわざ「撮影タイム」を設けて、観客は自由にスマホで撮影。

それをどんどん拡散してもらうことが宣伝になり、また音楽の裾野を広げることにつながっているわけです。

今年20周年を迎える東京の森美術

館も数年前から、展示作品の撮影を解禁しています。限られた予算内で展覧会を知ってもらうために、来館者に自身のインスタグラムで紹介してもらおうマーケティングに気がついたということ、結果、年間入場者ランキング1位となった展覧会もあるそうです。

これらはきちんとした「核」（ほんもの）があるから成り立つのでしよう。もちろん、アートだけでなく製品、技術、サービスについても、その良さを伝えるため常に最善を模索し、見せる・魅せることを意識していきたいです。

代表取締役社長 荒賀誠

「幸せ」を見つけるヒント ——— 6月

旬の走り、盛り、そして名残を大切に!

『アンネ・フランクの形見』という名前のバラがあります。このバラは蕾から次第に色が変わっていくのが特徴で、蕾のときは深紅、開花すると黄金色、そして満開時にはピンク色になるのです。桜の花のように咲きはじめ、満開、そして散り際と、順を追って愛でることができるのです。当社本社がある綾部の「バラ園」ではこの「アンネのバラ」がたくさん植栽されています。今、まさにバラの季節ですので、ぜひ、お出かけください。

花もそうですが、日本人は食材（野菜や魚）などにも旬の走り、さかり、名残というように



同じものをとときの経過とともに楽しむことや、走りの素材と名残の素材を組み合わせる新しいものを生み出すことに長けています。人もそうでしょう。それぞれの年齢に見合った味わいが生まれ、また、いろいろな年齢をもった人との組み合わせで新たな発見があり、幸せへの道筋が生まれていくのだと思います。

代表取締役会長 材木正己

※日東精工はサステイナブル経営(絆経営)を通して皆さんの幸せを願っています。

